

令和5年度上北地域集落営農チャレンジモデル実証公募要領

1 趣 旨

上北地域の集落営農組織は、構成員の高齢化や担い手不足により経営の強化が思うように進まなかったことに加え、大規模経営体への優良農地の移転が急激に進行し、米価下落と相まって収益が急速に悪化したことから、5年間で4組織が解散・休止しており、収益性改善に向けた取組が必要となっている。

そこで、上北地域の集落営農組織の活性化を図るため、高収益作物の導入による収益向上の取組、ICT技術の導入によるコスト低減の取組や、集落内のコミュニティビジネスの取組などの集落営農の活性化に向けた新たなチャレンジとなる取組を実証する者（以下、「実施者」という。）を公募により選定する。

2 実施内容

実施者は県と委託契約を締結し、上北地域県民局地域農林水産部と協議しながら次の（1）から（3）を実施する。

- （1）新たなチャレンジとなる取組の実証
- （2）実施結果の取りまとめ（実施報告書の作成）
- （3）その他、上記（1）、（2）に関連して必要な業務

3 集落営農チャレンジモデル実証実施期間

委託契約締結日から令和6年1月12日（金）までの期間内

4 採択件数

3件

5 応募者の要件

- （1）県の集落営農組織実態調査で市町村から報告された上北地域の集落営農組織であること。
- （2）同一の提案内容で、本事業以外の補助金等の交付を受けていないこと、又は受ける予定がないこと。

6 委託費の上限

1実証あたり 30万円（消費税及び地方消費税を含む。）

7 事業経費の範囲

事業の対象となる経費は、実施期間内に直接事業に必要な次に掲げる経費であって、事業対象として明確に区分できるものに限る。

ただし、財産及び資格取得に要する直接経費や備品の購入は除く。

- （1）報償費（アドバイザー等に対する謝礼）
- （2）旅費（アドバイザー等の旅費・宿泊費、実施者の調査や打合せに係る旅費・宿泊費）
- （3）使用料・賃借料（会場、物品等の借上料）
- （4）印刷製本費（資料等印刷費）
- （5）消耗品費（種苗、農業用資材、原材料等の購入に要する経費、事務用品費等）
- （6）役務費（郵便料金、保険料等）
- （7）燃料費（自動車燃料費）
- （8）人件費（臨時的雇用費）
- （9）委託料（第三者に委託することが必要かつ合理的・効果的なものに限る。）

8 応募方法

(1) 参加表明書（様式1）の提出

令和5年6月15日（木）17時までにFAX、郵送（必着）、持参のいずれかにより提出すること。

(2) 企画提案書（様式2）の提出

ア 令和5年6月20日（火）17時までに郵送（必着）、持参のいずれかにより提出すること。なお、参加表明書が提出されていない場合は、企画提案書を受理しない。

イ A4判縦方向、片面白黒印刷とし、表紙及び別紙を含めおおむね8ページを上限とする。

(3) 提出先及び問合せ先

〒034-0093 十和田市西十二番町20-12

上北地域県民局地域農林水産部 農業普及振興室 経営・担い手班

電話：0176-23-4281、FAX：0176-25-7242

9 実施者の選定

(1) 選定方法

応募のあった企画提案書を、上北地域県民局地域農林水産部等で審査し、最も優れた企画を提案した応募者を実施者として選定する（6月下旬予定）。

(2) 選定基準

ア 公募要領の「1 趣旨」に合致する取組であること

イ 実施計画及び実施方法が具体的であること

ウ 実施体制及び運営方法が適切であること

エ 実施スケジュールが適切であること

オ 波及効果が高いと見込まれるものであること

カ 経費の積算が妥当であること

10 審査結果の通知

審査結果については、審査終了後速やかに応募者全員に通知する。

なお、選定された実施者には、県との委託契約について、併せて連絡する。

11 実施者の責務

(1) 令和6年2月に開催を予定している、上北地域集落営農活性化セミナーに出席し、実施内容・成果を発表すること。

(2) 実証により得られた成果の公表を了承するとともに、実証成果の普及・利用促進に協力すること。

12 その他

(1) 企画提案書は、1者1提案とする。

(2) 提出された企画提案書の取扱いは以下のとおりとする。

ア 提出された企画提案書は委託先選定審査のみに使用するものとし、返却しない。

イ 著作権は企画提案者に帰属するが、採用された企画提案書の使用権は県に帰属する。

ウ 委託する実証内容については、必要に応じて上北地域県民局地域農林水産部が実施者と協議の上、採用された企画提案書の一部を変更して決定することができる。

(3) 企画提案書の作成及び提出に係る一切の経費については、応募者の負担とする。

(様式1)

上北地域県民局地域農林水産部農業普及振興室 経営・担い手班 片山 あて
(FAX : 0 1 7 6 - 2 5 - 7 2 4 2 / 送り状不要)

参 加 表 明 書

令和 年 月 日

令和5年度上北地域集落営農チャレンジモデル実証業務の内容を了承し、企画提案競技に参加します。

取組概要		
組織名		
代表者職・氏名		
担当者氏名		
連絡先	住 所	
	TEL 及び FAX	
	e-mail	

(様式2)

令和5年度上北地域集落営農チャレンジモデル実証企画提案書

令和 年 月 日

<企画提案者>

組織名	
住所	
電話	
代表者職・氏名	

1 応募の動機

(自らの集落営農組織の現状や課題を分析し、その課題を解決するための方策を記載するとともに、応募した動機を記載する。)

2 事業計画

(1) 集落営農チャレンジモデル実証の内容

(概要、実施時期、実施場所、対象、内容等を具体的に記載する。)

(2) 集落営農チャレンジモデル実証経費積算 (別紙1)

3 企画のアピールポイント

(優れている点、集落営農の活性化が見込まれる根拠など)

4 事業着手及び事業完了予定年月日

(別紙1)

集落営農チャレンジモデル実証 経費積算

(単位:円)

積算項目	単 価	数 量	金 額	備 考
合 計				
(うち消費税及び地方消費税)				

※消費税及び地方消費税相当分を含めた金額を見積書に記入すること。

なお、課税の対象とならないもの（保険料等）、軽減税率が適用されるもの（飲食料品費等）が含まれる場合は、項目を分けて積算項目の中に明記し、その旨を備考欄に記入すること。